

質問日	令和4年12月1日(木)		質問方式	分割方式			
質問順位	3	会派名	自由民主党浜松	議席番号	16	氏名	井田 博康
表 題		質 問 内 容				答弁者の職名	
1	いじめについて	<p>静岡県教育委員会は10月27日、2021年度に県内の公立学校が認知したいじめや不登校に関連する調査結果を公表した。小・中学校のいじめの認知件数は前年度より70%多い1万9917件で、いじめが現在の定義になった13年度以降で最多を更新した。また、「重大事態」の件数は小・中・高、特別支援学校の合計で16件あり、自殺未遂や精神性の疾患発症など生命や心身または財産に重大な被害があったケースが8件あった、との新聞報道があった。このように、県内のいじめが急激に増えている状況にある。義務教育である小・中学校生活は安全・安心が担保されていなければならないと考える。そして、いじめを早く見つけ、周りが素早く対応できる学校の実現が、急務であると考え。そのような中、本市は2022年9月に、「浜松市いじめの防止等のための基本的な方針」を改定した。</p> <p>そこで、以下3点伺う。</p> <p>(1) いじめの未然防止の取組について伺う。</p> <p>(2) いじめの早期発見のための体制整備について伺う。</p> <p>(3) いじめの対応について、教職員にどのような指導をしているのか伺う。</p>				宮崎教育長	
2	マスクの着用について	<p>岸田首相は2022年10月6日の参議院本会議で、自由民主党世耕議員への答弁で「マスク着用のルールを含めた感染対策を検討する。科学的な見地に基づき、世界と歩調を合わせた取組をしていく」と述べ、新型コロナウイルス感染症対策としてのマスク着用に関し、ルール化を検討する考えを示した。既に厚生労働省と文部科学省の連名による「子どものマスクの着用について」や、厚生労働省による「屋外・屋内でのマスクの着用について」などのチラシがネットに掲載されている。</p> <p>本市も周知に努力しているとは思いますが、屋外でのマスクの着用に関しては、まだマスク着用のルールの周知が足りないように感じる。</p> <p>そこで、以下3点伺う。</p> <p>(1) 厚生労働省の推奨に対しての市民に向けた現在の周知の方法を伺う。</p> <p>(2) 本市としてマスクの着用による人体への影響についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 学校への登下校や体育の授業等でのマスクの着用はどのように対応していくのか伺う。</p>				西原保健所長 " 宮崎教育長	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>3 ビーチ・マリンスポーツ施設について</p>	<p>本市では2018年12月に策定したビーチ・マリンスポーツ事業化計画が広い範囲で計画されている。2021年12月の私の一般質問では、「奥浜名湖におけるマリンスポーツは、三ヶ日青年の家が活動の中心となっている状況を踏まえマリンスポーツが活性化する施設整備を奥浜名湖エリアに検討し、施設整備には市所有の公共空地も含め検討を進めたい。」との回答であった。この先、三ヶ日青年の家やマリンスポーツの拠点施設の計画地の周辺道路の利用頻度はより多くなると予想される。マリンスポーツの拠点整備を進める中で、周辺道路の整備も並行して検討しておく必要があると考える。</p> <p>そこで、以下2点伺う。</p> <p>(1) マリンスポーツを活性化させる施設整備の進捗状況と今後のスケジュールについて伺う。</p> <p>(2) マリンスポーツの拠点周辺の道路整備についての考えを伺う。</p>	<p>嶋野文化振興担当部長</p>
<p>4 市有施設のZEB化について</p>	<p>国は、地球温暖化対策計画において、2030年度までに中大規模の新築建築物に占めるZEBの割合を100%とする目標を掲げ、公共建築物における率先したZEBの実現を求めている。本市も地球温暖化対策実行計画において、2030年度までに、施設の運営に伴うエネルギー使用に起因する二酸化炭素排出量を、2013年度比で44%削減することを目標としている。本市では浜松市地球温暖化対策実行計画の目標達成のため、市有施設のZEB化可能性調査を実施し、改修を進めることで施設のZEB化を推進し、本市域の脱炭素化を目指している。</p> <p>そこで、以下3点伺う。</p> <p>(1) 外皮性能の向上及び設備改修の検討や、再生可能エネルギー設備等の導入検討の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 市有施設のZEB化の今後の方向性について伺う。</p> <p>(3) 2030年度までに施設の運営に伴うエネルギー使用に起因する二酸化炭素排出量を、2013年度比で44%削減するとの目標に対してのスケジュールを伺う。</p>	<p>村上カーボンニュートラル推進事業本部長</p>
<p>5 四ツ池公園運動施設の再整備について</p>	<p>四ツ池公園運動施設は老朽化が進み、本市議会大型公共施設建設調査特別委員会では視察等による調査研究が行われ、再整備に当たっての競技施設の種類や規模など整備方針が協議されている。市当局では2020年に交通アクセス、都市計画、建築の課題と対策を調査研究するためのプロジェクトチームが設置された。現況においても競技会などイベント開催時には施設周辺で混雑が生じることから地元の理解を得られるよう、</p>	<p>奥井花みどり担当部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>先行して対策を行う必要があると考える。</p> <p>また、地元住民や陸上競技場利用者から、遠州鉄道 上島駅から四ツ池公園運動施設までの上島萩丘線の歩 道が狭いという声も聞いている。</p> <p>そこで、以下3点伺う。</p> <p>(1) プロジェクトチーム設置時には、将来予測に必要な 課題の抽出から始めていくとのことであったが、今ま でプロジェクトチームで議論されてきた将来に向け た課題の中身はどのような内容か伺う。</p> <p>(2) イベント開催時における、上島萩丘線の渋滞解消に 向けた議論はどのように進んでいるのか伺う。</p> <p>(3) 上島萩丘線の歩道を利用する施設利用者の安全確保 をどのように考えているか伺う。</p>	